

「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の  
平成30年度の実施内容と平成31年度の実施予定について

1 「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の概要について 参考資料2

2 平成30年度の実施内容と平成31年度の実施予定について

(1) 実施内容 別紙1 「自転車のまち推進計画後期計画」の実施内容一覧

(2) 活動指標の状況

柱	指標	基準値 (H27年度)	平成30年度 見込み	目標値 (H32年度)
I 安全	自転車走行空間の整備延長（市道のみ）	21.7km	45.8km (23.9km) ※1	57.7km (36.0km) ※1
【進捗評価】	・着実に整備延長を伸ばすことができた。			
II 快適	中心市街地における駐輪場の利用者数	253,094人/年間	283,000人/年間	282,000人/年間
【進捗評価】	・指導員による放置自転車防止の指導や市営駐輪場の周知啓発活動などの取組により、中央1丁目駐輪場の利用者数が増加し、目標値を上回ることができた。			
III 楽しく	宮サイクルステーションの来館者数	5,692人/年間	6,200人/年間	6,200人/年間
【進捗評価】	・自転車に関する情報発信やスポーツバイクに関するセミナーの開催など施設を積極的に活用したことにより、目標値と同数の来館者数となった。			
IV健康とエコ	自転車通勤に関する出前講座の開催数	—	2回	8回
【進捗評価】	・企業や従業員等を対象とした出前講座を新たに開設したことから、開催数を目標値として設定する。			
V つながる	駐輪場整備箇所数 ・バス停付近	7箇所	11箇所 (4箇所) ※1	13箇所 (6箇所) ※1
	・LRT停留場付近	LRTの供用開始に合わせ、全ての停留場付近に駐輪場を設置する。(15箇所)		
【進捗評価】	・バス停付近の駐輪場については、市道の歩道上への新設整備と民間施設の協力により、2箇所増加した。 ・LRT停留場付近の駐輪場設置については、トランジットセンターなどを含むすべての停留場付近に設置する駐輪場の目標台数や整備箇所の検討を進めた。			

※1 ( ) 内の数値は後期計画期間内の数値

## 【総合評価】

### 「Ⅰ 安全」

- ・ 自転車走行空間の整備は、整備済みの道路と連続するよう整備を進めながら、着実に延長を伸ばし、全国1位である自転車専用通行帯の交通規制延長も伸ばすことができている。また、子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層に対して、交通ルール・マナーを交通安全教室や安全運転を自転車利用者に直接呼びかける街頭指導の実施に加え、自転車損害賠償保険の加入促進や自転車用ヘルメット着用の普及啓発などを行うことで交通安全に対する市民の意識向上が図られている。

### 「Ⅱ 快適」

- ・ 市営駐輪場の適正な運営や放置自転車対策と合わせた駐輪場利用を促す周知活動などにより、駐輪場利用者が増加するとともに、中心市街地の駐輪環境を向上させるため、地元商店街と意見交換を行いながら、道路上の駐輪スポットの設置場所や設置手法などの検討を実施している。また、サイクリングをサポートする「自転車の駅」の設置数が増加し、自転車の利用しやすい環境づくりが進んでいる。

### 「Ⅲ 楽しく」

- ・ ジャパンカップサイクルロードレースやシクロクロスなどの自転車競技やサイクルピクニックなどのサイクルイベントが継続的に開催され、観戦者やサイクリストが年々増加するなど誘客促進が図られている。また、自転車活用推進法が施行され、本市の自転車施策事業が先進的な取組としてマスコミなどにも取り上げられており、市内外へ「自転車のまち」のPRが図られている。

### 「Ⅳ 健康とエコ」

- ・ 歩くだけでなく、自転車の走行距離に応じたポイントが付与される「健康ポイント事業」が本格実施されたことや、自転車通勤を促進させるために企業や従業員向けの「出前講座」を開設するなど、市民への自転車を利用した健康増進の取組や啓発活動が充実してきている。

### 「Ⅴ つながる」

- ・ 公共交通と自転車をつなげる「サイクル・アンド・バスライド用駐輪場」が増加し、自転車の利用環境が向上するとともに、山田川サイクリングロードの整備延長を計画的に伸ばし、旧河内町が整備したサイクリングロードと接続するなど（平成31年3月予定）、市民が日常やレジャーなど多様な自転車の利用拡大に寄与している。